

GAPの新たな展開方向を考える

日時 2019年
7月5日 月 13時00分～16時00分

場所 千葉県教育会館 6階 604会議室
千葉市中央区中央4丁目13-10
JR本千葉駅より徒歩12分/京成千葉中央駅より徒歩12分

参加費
無料
(先着80名様)

GAPの本格的な議論に入るために安全性や品質向上には認証システムが必要になり、JGAPやグローバルGAPの導入が条件となってきました。わが国では有機農産物の増加があまり顕著でないが、小売主導型流通システムが強まると、小売と産地を繋ぐサプライチェーンがGAPによって強められ、相互のメリットも期待できるようになります。すでに千葉県内でも両GAPは増加し、さらなる普及を図るために、この協議会ではGAPの新たな展開方向を考えることにしました。

講演:テーマ

「GAPを巡る背景と基本的課題—座長解題に代えて」

齋藤 修 氏(千葉大学 名誉教授)

報告:演題1

「JJAPの役割と進化」

横溝 太郎 氏(日本GAP協会マネージャー)

報告:演題2

「グローバルGAPと量販店の提携」

佐伯昌彦 ((株) マルタ社長)

報告:演題3

「植物工場の栽培管理とGAPの役割」

篠原 温 氏(千葉大学名誉教授)

主催：ちばの「食」産業連絡協議会、千葉県

後援（申請中含む）：国立大学法人千葉大学園芸学部、関東農政局、関東経済産業局、

（公社）千葉県園芸協会、（一社）千葉県農業協会、千葉県農業会議、（公財）千葉県産業振興センター、（一社）千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、千葉県中小企業団体中央会

お申込み
お問合わせ

ちばの「食」産業連絡協議会事務局(千葉県農林水産部 流通販売課 内)
千葉市中央区市場町1-1 TEL:043-223-3085 FAX:043-227-8307